

教科	数学科	科目	数学Ⅱ	単位数	2	学年	3	
学科 ・ コース	普通科 特進コース							
教科書	新編 数学Ⅱ (数研出版)		副 教 材	チャート式解法と演習 数学Ⅱ+B (数研出版) 4STEP 数学Ⅱ+B (数研出版)				
科目 の 概 要	<p>いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培う。</p> <p>また、問題解決の過程を振り返って自らを評価・改善できる力を身に付ける。</p> <p>大学入試に対応できる基礎力を身に付ける。</p> <p>状況に合わせて受験問題集等を利用し、これまでの知識の定着を図る。</p>			評価の観点	<p>① 基本的な知識やその法則を理解し、数学的に表現・処理をする技能の習得ができているか。(知識・技能)</p> <p>② 数の範囲や式の性質に着目し考察する力、図形・グラフがどのような関数で表され、どのような特徴をもつのか着目し数学的に考察する力、問題解決の過程や結果から統合的・発展的に考察する力を養う。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>③ 数学的な活動を通じて粘り強く学習に取り組んでいるか。(主体的に学習に取り組む態度)</p>			
				評価方法	<p>定期考査や小テストなどから知識、技能を、課題プリントや提出物、グループワークなどから思考力、判断力、表現力を、授業態度や提出物の提出状況から主体的に学習に取り組む態度を評価する。</p> <p>またそれらを総合的に評価する。</p>			
授業内容	<p>1 学期</p> <ul style="list-style-type: none"> 指数関数と対数関数 指数関数、対数関数 微分法と積分法 微分係数と導関数、導関数の応用、積分法 <p>2 学期</p> <p>問題演習</p> <p>3 学期</p> <p>問題演習</p>			学習方法	<p>分からない事はすぐに質問し解決する。</p> <p>授業で習ったことをその日のうちに復習する。</p> <p>学習した範囲を、問題集や参考書の問題を何度も解くことで確認する。</p> <p>その他についても積極的に行動する。</p>			
	備考	なし						

教科	数学科	科目	数学Ⅱ	単位数	2	学年	3
学科 ・ コース	普通科 総合キャリアコース、看護医療進学コース、幼児教育コース スポーツコース、音楽コース						
教科書	新編 数学Ⅱ (数研出版)		副 教 材	3TRIAL 数学Ⅱ (数研出版)			
科目 の 概 要	「指数関数」「対数関数」「微分」「積分」 における基本的な概念、原理・法則、用語・ 記号などを理解し、基礎的な知識を習得する。 数学的な活動を通して、数学的な見方や考え 方を身につけ、事象の考察に活用、処理する 力を養う。 また、高校数学の知識を用いた演習をする。			評 価 の 観 点	① 基本的な知識やその法則を理解し、 数学的に表現・処理したりする技能 の習得ができているか。(知識・技能) ② 数の範囲や式の性質に着目し考察す る力、図形について方程式を用いて 表現したり、関数関係に着目しその 特徴を数学的に考察する力、問題解 決の過程や結果から統一的・発展的 に考察する力を養う。(思考力・判断 力・表現力) ③ 数学的な活動を通じて粘り強く学習 に取り組んでいるか。(主体的に学 習に取り組む態度)		
					評 価 方 法	定期考査や小テストなどから知識、技能 を、課題プリントや提出物、グループワ ークなどから思考力、判断力、表現力を、 授業態度や提出物の提出状況から主体的 に学習に取り組む態度を評価する。 またそれらを総合的に評価する。	
	授 業 内 容	1 学期 ・ 指数関数・対数関数 ・ 導関数とその計算			学 習 方 法	・ 定期的に宿題プリントが配布されるの で、それを用いて復習する。 ・ 3TRIAL の基本問題を解くことで、学習 した範囲の理解が深まるので必ず問題 を解く。	
2 学期 ・ 積分法 3 学期 ・ 高校数学の知識を用いた演習			備 考	なし			

教科	数学科	科目	数学Ⅲ	単位数	4	学年	3
学科 ・ コース	普通科 特進コース (理系)						
教科書	新編 数学Ⅲ (数研出版)		副 教 材	チャート式解法と演習 数学Ⅲ+C (数研出版) 4STEP 数学Ⅲ+C (数研出版)			
科目 の 概 要	<p>極限、微分法及び積分法について、原理や法則を体系的に理解するとともに数学的に表現・処理する技能を身に付ける。</p> <p>問題解決の過程を振り返って考察を深める。</p> <p>入試問題を中心に大学入試に向けた授業を実施する。</p> <p>状況に合わせて受験問題集等を利用し、これまでの知識の定着を図る。</p>			評価 の 観 点	<p>① 基本的な知識やその法則を理解し、数学的に表現・処理をする技能の習得ができているか。(知識・技能)</p> <p>② 関数への理解をより明確にし、その特徴を数学的に考察する力、問題解決の過程や結果から統合的・発展的に考察する力を養う。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>③ 数学的な活動を通じて粘り強く学習に取り組んでいるか。(主体的に学習に取り組む態度)</p>		
				評価 方 法	<p>定期考査や小テストなどから知識、技能を、課題プリントや提出物、グループワークなどから思考力、判断力、表現力を、授業態度や提出物の提出状況から主体的に学習に取り組む態度を評価する。</p> <p>またそれらを総合的に評価する。</p>		
				学 習 方 法	<p>分からない事はすぐに質問し解決する。</p> <p>授業で習ったことをその日のうちに復習する。</p> <p>学習した範囲を、問題集や参考書の問題を何度も解くことで確認する。</p> <p>その他についても積極的に行動する。</p>		
授 業 内 容	<p>1 学期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関数 ・極限 数列の極限、関数の極限 <p>2 学期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・微分法 導関数、いろいろな関数の導関数 ・微分法の応用 導関数の応用、速度と近似式 ・積分法 不定積分、定積分 ・積分法の応用 <p>3 学期</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学入試対策 			備 考	なし		

教科	数学科	科目	数学 C	単位数	2	学年	3
学科 ・ コース	普通科 特進コース (理系)						
教科書	新編 数学 C (数研出版)		副 教 材	チャート式解法と演習 数学Ⅲ+C (数研出版) 4STEP 数学Ⅲ+C (数研出版)			
科 目 の 概 要	ベクトルや複素数平面について、原理や法則を体系的に理解するとともに数学的に表現・処理する技能を身に付ける。また、曲線を表す式の成り立ちや特徴を十分に理解し活用する。 問題解決の過程を振り返って考察を深める。入試問題を中心に大学入試に向けた授業を実施する。 状況に合わせて受験問題集等を利用し、これまでの知識の定着を図る。			評 価 の 観 点	① 基本的な知識やその法則を理解し、数学的に表現・処理したりする技能の習得ができているか。(知識・技能) ② ベクトルのもつ意味や活用の方法を整理して理解し、その特徴を数学的に考察する力、問題解決の過程や結果から統合的・発展的に考察する力を養う。(思考力・判断力・表現力) ③ 数学的な活動を通じて粘り強く学習に取り組んでいるか。(主体的に学習に取り組む態度)		
				評 価 方 法	定期考査や小テストなどから知識、技能を、課題プリントや提出物、グループワークなどから思考力、判断力、表現力を、授業態度や提出物の提出状況から主体的に学習に取り組む態度を評価する。またそれらを総合的に評価する。		
	授 業 内 容	1 学期 ・ 平面上のベクトル 平面上のベクトルとその演算、ベクトルと平面図形 ・ 空間ベクトル 2 学期 ・ 複素数平面 ・ 式と曲線 2次曲線、曲線の媒介変数表示 3 学期 問題演習、入試問題対策			学 習 方 法	分からない事はすぐに質問し解決する。授業で習ったことをその日のうちに復習する。 学習した範囲を、問題集や参考書の問題を何度も解くことで確認する。 その他についても積極的に行動する。	
				備 考	なし		

教科	数学科	科目	(学) 数学特講	単位数	3	学年	3
学科 ・ コース	普通科 特進コース (文系)						
教科書	ニュースタダード数学演習 I・A+II・B 受験編 (数研出版)	副教材	・チャート式解法と演習 数学I+A (数研出版) ・チャート式解法と演習 数学II+B (数研出版)				
科目の概要	大学入試共通テストを中心に対策する。 各単元の基礎的な解法や公式について、その都度確認をする。 多くの問題に触れ、自ら解き進める力を養う。		評価の観点	① 基本的な知識やその法則を理解し、数学的に表現・処理をする技能の習得ができているか。(知識・技能) ② どの単元においても、それらがもつ性質・特徴をもつのか再度着目し数学的に考察する力、問題解決の過程や結果から統合的・発展的に考察する力を深く養う。(思考力・判断力・表現力) ③ 数学的な活動を通じて粘り強く学習に取り組んでいるか。(主体的に学習に取り組む態度)			
	1 学期 ・数と式 ・関数と方程式・不等式 ・場合の数・確率 ・図形の性質 ・整数の性質 ・データの分析 2 学期 ・式と証明、論理 ・三角・指数・対数関数 ・ベクトル ・数列 ・微分法積分法 3 学期 ・入試演習		評価方法	定期考査や小テストなどから知識、技能を、課題プリントや提出物などから思考力、判断力、表現力を、授業態度や提出物の提出状況から主体的に学習に取り組む態度を評価する。 またそれらを総合的に評価する。			
			学習方法	分からない事はすぐに質問し解決する。授業で習ったことをその日のうちに復習する。 学習した範囲を問題集や参考書の問題を何度も解くことで確認する。 その他についても積極的に行動する。			
		備考	希望進路によっては、私立大学入試対策、2次試験対策も行う。				

教科	数学科	科目	(学) 看護数学	単位数	3	学年	3
学科 ・ コース	普通科 看護医療進学コース						
教科書	新編 数学I (数研出版) 新編 数学A (数研出版)	副 教 材	クリアー 数学I + A (数研出版)				
科目 の 概 要	看護医療系の大学・専門学校への受験を予定しているコースのための科目である。 数学I・数学Aの範囲で受験校の難易度に合わせた問題演習を行う。 看護医療系の希望進路は、短期大学や専門学校から難関四年制大学まで様々であり、すべての入試に対応できるよう基礎・基本事項から入試レベルまで幅広い問題を取り扱っていく。			評価 の 観 点	① 基本的な知識やその法則を理解し、数学的に表現・処理をする技能の習得ができているか。(知識・技能) ② どの単元においても、それらがもつ性質・特徴をもつのか再度着目し数学的に考察する力、問題解決の過程や結果から統合的・発展的に考察する力を深く養う。(思考力・判断力・表現力) ③ 数学的な活動を通じて粘り強く学習に取り組んでいるか。(主体的に学習に取り組む態度)		
				評価 方 法	定期考査 平常点 ・授業態度 ・小テスト ・提出物		
	3単位を曜日ごとに数学I・数学A・入試問題対策とわけ、早期受験の生徒も復習できるよう全ての分野からランダムでプリントを配布する。 数学I・数学Aでは復習をきちんと行いながら、基礎・基本問題も含めて高いレベルの演習問題も繰り返し取り組む。 入試問題対策では過去問を中心に4年制大学、短期大学、専門学校と各難易度に応じて出題する。			学 習 方 法	・授業で習ったことをその日のうちにノートや問題集で復習をする。 ・理解できなかった内容はそのままにせず、すぐに質問をして理解をする。		
			備 考	なし			